

PRESS RELEASE

報道関係各位

2024 年 7 月 9 日

日本政府観光局（JNTO）ハノイ事務所

台湾観光局と連携した台湾・沖縄ファムトリップを初共催！

～いま注目の“フライ&クルーズ”を活用した両国観光を日台協力でプロモーション～

- ・ JNTO ハノイ事務所は、初の試みとして台湾観光局ホーチミン事務所と連携し、ベトナム大手旅行会社、メディア、インフルエンサー（KOLs）を対象とした台湾・沖縄ファムトリップ*を実施しました。
- ・ 当ファムトリップは、最近ベトナム国内でも人気が出てきている「フライ&クルーズ*」での訪台、訪日を促進する目的で実施され、クルーズ旅行の魅力とともにアジア有数のクルーズ拠点である基隆市や寄港地である沖縄を PR しました。また、クルーズ船の乗客は、日本の寄港地において「船舶観光上陸許可制度」が適用され、査証必須国であるベトナム人も“査証免除”で入国可能であることも紹介いたしました。
- ・ 「フライ&クルーズ」での訪日は査証不要で日本に入国できることから、ベトナムからの訪日客増加、地方誘客誘致促進、消費額拡大に貢献し得る大きな可能性を秘めています。JNTO ハノイ事務所では、今後も新たな訪日旅行スタイルとして「フライ&クルーズ」の普及を目指してプロモーションを強化してまいります。

※フライ&クルーズ：飛行機でクルーズの発着地まで行き、海外発着クルーズに乗船する旅行

【ファムトリップ概要】

主 催 者：台湾観光局ホーチミン事務所

後 援 者：日本政府観光局（JNTO）ハノイ事務所

（一財）沖縄観光コンベンションビューロー

基隆観光局、台湾国際港務公司 他

協賛企業：株式会社ワールドビジネスプラン、雄獅旅游 他

実施期間：2024 年 6 月 16 日（日）～6 月 21 日（金） 5 泊 6 日

招請対象：ベトナムの大手旅行会社、主要メディア、インフルエンサー（KOLs）等 約 30 名

船舶観光上陸許可制度とは… 法務大臣が指定した船舶で来日し許可を受けた乗客は、一つの寄港地につき 7 日以内に帰船することを条件に査証不要で入国できる制度。査証申請必須国であるベトナムも対象となる。



～那覇新港での集合写真～

■ベトナムにおけるフライ&クルーズ市場の潜在性とベトナム人観光客誘致に大きな可能性を秘める沖縄

2023 年のベトナムから訪日外客数は 573,771 人と過去最多を記録した一方、2023 年 1 月～11 月の観光目的での外客数は 159,734 人（全体割合：29.8%）に留まっています。この背景に、訪日査証制度が大きな障壁になっていることが挙げられますが、クルーズ船で来日した場合は、「船舶観光上陸許可制度」が適用され、査証必須国であるベトナム人も“査証免除”で入国、観光することが可能となり、訪日者数増加の起爆剤として期待されます。また、現在はベトナム-沖縄間に直行便はないものの、基隆発着で沖縄（離島含む）に寄港するクルーズ船は 2024 年だけでも 170 本以上あり、香港や上海などのベトナム直行便就航都市も含めるとその数は年間 350 本以上と、フライ&クルーズを契機としたベトナムから沖縄への新たな観光ルート確立が見込めます。

来年以降も沖縄へのクルーズ船寄港数は増加想定であり、中間層以上の間でフライ&クルーズに人気が出てきていることから、ベトナムのクルーズ旅行市場は今後大きなポテンシャルを秘めていると考えています。

【各団体代表者コメント】

➤ JNTO ハノイ事務所長 吉田 憲司

この度、台湾観光局と連携し、素晴らしい日台共同ファムトリップを実施できたことを大変光栄に思います。日本政府は訪日クルーズ旅客数を2025年までにコロナ禍以前のピークである250万人に達成することを目標に掲げ、訪日クルーズプロモーションに取り組んでいます。今回は「船舶観光上陸許可制度」を利用した日本への入国をベトナム人参加者に体験してもらいましたが、この制度は訪日査証が必要なベトナムにおいて、訪日クルーズ旅客数およびベトナム人訪日客の増加に非常に有効であると考えます。JNTO ハノイ事務所は、今後もこの大きなポテンシャルを秘めるベトナムのクルーズ市場を取り込むべく、引き続き関係者の皆さまと協力しながら、フライ&クルーズおよび沖縄を始めとした日本の観光魅力をPRしてまいります。

➤ 台湾観光局ホーチミン事務所長 Mr. Derek Chou

台湾はクルーズ観光に優れた地理的環境を有しており、新型コロナウイルス流行前の2019年には、アジアで2番目に大きなクルーズ市場を誇っていました。そのような背景から今回、台湾観光局は日本政府観光局の特別協力のもと、ベトナムのハイエンド層を誘致するためにベトナムの旅行会社、メディア、旅行系インフルエンサーを台湾と沖縄に招待し、実際に「フライ&クルーズ」の旅を体験してもらうことで“マルチデスティネーション”のクルーズ商品の魅力を日台共同でプロモーションを図りました。

【参加者コメント】

➤ SAIGONTOURIST Outbound Director Mr. VU DINH TUAN

サイゴンツーリストは、国際クルーズ観光を含む国際旅行事業に大きな強みを持っており、世界中の大手クルーズ会社と強固なパートナーシップを確立しています。これはサイゴンツーリストが各クルーズ会社と連携して魅力的なクルーズ商品を展開する基盤となっており、2004年から現在まで継続的にベトナム人向けのクルーズ商品を取り扱っております。今回の参加した台湾-日本クルーズは、飛行機とクルーズという2つの交通手段を1つのツアープログラムに組み合わせたもので、ベトナム人にとって新しい目的地である沖縄への訪問も含めて大変興味深いものでした。乗船客は船上でラグジュアリーなクルーズを満喫し、寄港地で異なるユニークな文化を体験する機会があります。日常の喧騒から離れ、海上でのゆったりとした贅沢な時間を過ごすことができるため、忘れられない特別な思い出を残すことができます。特に大海原の新鮮な空気やロマンチックな海上の日の出やサンセットは非常に魅力的です。サイゴンツーリストは、BtoCおよびBtoBの双方を対象に、世界の有名クルーズのフライ&クルーズ商品を顧客リクエストに応じて柔軟に提供してまいります。

➤ FLYCRUISE JSC Director Ms. GOH JEN NEE

空の旅とクルーズを組み合わせたフライ&クルーズは、新しく有望な観光商品をベトナムの旅行市場に生み出しています。フライ&クルーズは、ホテルへ頻りにチェックインをする必要がなく、移動時間も有効に活用できる旅行スタイルであるため、一度に多くの国や観光地を訪問したい旅行者にとって理想的な選択肢です。旅行者はクルーズ船が次の寄港地へ移動する間に、年齢に関係なく様々なエンターテインメントやアクティビティを楽しめ、多くの高級サービスが体験できることがクルーズ旅行の最大の魅力です。これまでの経験から、日本を目的地とするクルーズはベトナム人に人気であることが分かってきております。したがって、日本へのフライクルーズはベトナムクルーズ市場において今後潜在的な観光商品となると考えます。

➤ 歌手・旅行系インフルエンサー Mr. TRAN QUANG VINH

私の大好きな国である台湾と日本へフライ&クルーズで旅することは初めての経験でした。このファムトリップを通して、安心安全に誰もが楽しめ、寄港地の美しい風景や景色を見ることができる、この新しい旅行スタイルについてもっと知りたくなりました。

【活動写真】



正浜漁港視察（基隆市）



台灣觀光局と基隆市によるクルーズセミナー（基隆市）



首里城公園で専門ガイドの説明を真剣に聞く参加者（那覇市）



沖縄美ら海水族館視察（本部町）



沖縄民謡と琉球舞踊エイサー鑑賞（那覇市）



「百名伽藍」で琉球料理の昼食（南城市）